



令和7年5月9日

担当課	文化振興課
担当者	福田、平田
電話	(073) 435-1194
内線	3027

1,512作品の応募から選ばれた14作品 第2回「有吉佐和子文学賞」受賞作品が決定！



有吉佐和子記念館の開館を契機に、本市の偉人である有吉佐和子の顕彰に加え、文学について学ぶ機会を提供すること及び本市の文化的風土を醸成することを目的とし、令和5年12月に有吉佐和子文学賞を創設。（塚本治雄基金を活用しています）

自身のことや世の中のこと、和歌山への想いなどについて、思ったまま、感じたままに表現いただくことを目的としてエッセイの作品を募集したところ、全国から1,512作品もの応募をいただき、有識者等による意見聴取を経て、受賞作品を決定しました。



※トロフィーイメージ

1 受賞作品一覧

賞	作品名	氏名	居住地・学校名・学年
最優秀賞	せつやく こうふくろん 節約の幸福論	おおき あつこ 大木 篤子	和歌山県紀の川市
優秀賞	ちち て と あさ 父の手を解いた朝	みねた やすひこ 峯田 泰彦	東京都足立区
佳作	そふ からの でんわ 祖父からの電話	あえ みほ 阿江 美穂	兵庫県加東市
	ほうれん草のゆで汁	いぐち もとみ 井口 元美	愛知県大府市
	しんゆう ふく 親友の服	にしむら みか 西村 美香	大阪府貝塚市
	なじみ客として想う	ふじた よういち 藤田 陽一	栃木県鹿沼市
	ちち 父はハナシカ	やなる ららみー 矢鳴 蘭々海	大阪府箕面市
奨励賞	わたし うんめい か 私の運命を変えるきっかけ	かたおか まゆ 片岡 真悠	茨城県常総市 常総学院高等学校1年
	あたり前の歯車を回す	かぶらぎ はなの 鏑木 花野	東京都板橋区 クラーク記念国際高校2年
	いかならず言いたい言葉	たきもと しょうき 滝本 昇生	和歌山県和歌山市 開智中学校1年
	引っ越し	まきの おとは 牧野 乙葉	千葉県富里市 千葉敬愛高等学校2年
	そのコーラ	みやざき じゅんたい 宮崎 純大	兵庫県加古川市 加古川市立氷丘中学校2年
	日本のアマルフィにて	みやもと さき 宮本 紗希	和歌山県和歌山市 和歌山信愛高等学校2年
	えがお いっしょ た 笑顔と一緒に食べている	よこやま りお 横山 綾乃	静岡県磐田市 角川ドワンゴ学園 N高等学校1年

※ 奨励賞は中学生および高校生の作品のみ対象です。

※ 学年は応募時点（令和7年1月31日時点）のものです。

2 表彰式

- (1) 日時 令和7年6月1日(日)午後1時30分から
- (2) 場所 有吉佐和子記念館(和歌山市伝法橋南ノ丁9)

3 作品公表

受賞作品は、表彰式後、市ホームページ等に掲載します。

4 最優秀賞受賞作品について

(1) 「節約の幸福論」 概要

老いる事に不安があった若い頃。ところが、想像とは違い、年老いたからこそ手に入れることができた幸せの数々。人生で今が一番好きと言い切れる作者の日常や思いを綴った作品。

(2) 意見聴取員のコメント(抜粋)

年をとることの良さ、楽しみが普通に書かれていました。

思い出はとても大事。人は自然に残すものと捨てるものを上手に分けるものだ。

日本の最大の社会問題でもある高齢化、長寿化をテーマにしているが、首尾一貫して明るく、希望に溢れていて、読むほうが幸福になる。多くの人が不安を抱く長寿に対して、これほど明るさと希望を提供してくれた読み物は初めてであり、有吉佐和子文学賞にふさわしい。

ジョウビタキの鳴き声から始まる書き出しと、鳴き声はなく「夕焼けに染まる龍門山が、にっと笑ったような気がした」と締めくくる構成力の高さが際立つ。五感を存分に働かせ、豊富な語彙で綴った豊かな表現力が見事な作品。

5 第2回有吉佐和子文学賞実施結果

- (1) 募集期間 令和6年11月1日～令和7年1月31日
- (2) 応募規定 400字詰め原稿用紙2枚以上5枚以内
- (3) 応募資格 中学生以上
- (4) 応募総数 1,512作品

一般・中高生別(応募時点)	応募数
一般	865
中・高生	647
合計	1,512

居住地別(応募時点)	応募数
市内	201
県内	81
県外	1,224
海外	1
未記入	5
合計	1,512

年齢別(応募時点)	応募数
～19歳(中高生)	647
～19歳(一般)	4
20～29歳	64
30～39歳	75
40～49歳	102
50～59歳	132
60～69歳	204
70～79歳	174
80～89歳	65
90歳以上	4
未記入	41
合計	1,512

(5) 受賞作品の決定について

市の選考結果をもとに、有識者からの意見聴取を経て受賞作品を決定しました。

〈意見聴取員〉 おんだ まさかず 恩田 雅和(有吉佐和子記念館 館長)
こうの かずのり 河野 和憲(情報通信業(出版業))
ぼう みおこ 坊 美生子(有識者)
なかむら ゆかこ 中村 祐佳子(教育研究会国語部会)